

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成26年10月24日

和泉市長 あて

団体名 青葉はつが野世代間交流
推進委員会
代表者名 井 上 忠 男
所在地 和泉市青葉台
電 話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 第34回 青葉台夏まつり
2. 事業の概要 42年目を迎えた「青葉台」。青葉はつが野小学校区更に南池田中学校区を控えた街。青葉台夏まつりを通じての地域間・世代間の交流を深め、近隣の絆を結び、助け合いの精神で安全安心な街づくりを推進する。そして子供たちの社会教育の一助となるような懐かしい祭りを手作りで実現させる。
3. 事業費総額 2,280,000円
(うち、対象経費 1,945,000円)
4. 交付希望額 800,000円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい ・ いいえ)
6. 添付書類
(1) 団体概要調書（様式第2号）
(2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
(3) 事業計画書（様式第3号）
(4) 収支予算書（様式第4号）
(5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	アオバハツガノセダイカンコウリュウスイシンイインカイ		
団体名	青葉はつが野世代間交流推進委員会		
団体の目的	青葉台夏まつりを通じて、地域間・世代間の交流を深め、近隣との絆を深く結び、助け合いの精神で安全安心の街づくりを推進する。 特に、高齢者に対する参加を積極的に促す。		
市内事務所の所在地	〒594- 和泉市青葉台		
	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話		FAX ()
フリガナ	イノウエ タダオ		
代表者氏名	井 上 忠 男		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをした ときに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ エノモト ユキノブ		電 話
	榎 本 行 伸		FAX
設 立 年 月	23 年 9 月	主な活動地域	青葉はつが野校区・ 南池田中学校区
会報等の発行	有(一回発行) ・ 無	会員数	243 人
メールアドレス	@		
ホームページ	http://		
主な事業内容	地域間・世代間の交流を図るため、青葉はつが野校区・南池田中学校区内の有志によるアトラクションやイベントへの参加を呼びかけ、参加者自身で演出し、賑やかで楽しい自分たちの祭りとして位置づけて、健康な祭りを実施する。		
主な活動の実績	自治会行事として33回の夏まつりを実施してきたが、第31回から「ちょいず」の支援を受け、『青葉はつが野世代間交流推進委員会』の主催で実施。地域周辺からも多くの参加を得、地域交流という目的は達成。今後更に思い出に残る夏まつりを企画し、明るい街づくりに取り組んでいくように全力を尽くしたい。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
		_____	_____

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	第34回 青葉台夏まつり	
事業の必要性 *別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 昨今の報道機関を見聞する中で、自己中心的な出来事が多い世の中。それを防ぐ一環として、まつりを通じて地域間・世代間の交流を図り、共にいたわり助け合う精神によって人間関係の絆を深める。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果） 子供たちにとって、一生懸命練習し、その成果を多くの人前で発表することが、自信となり、成長につながる。 また、子供たちにとって「故郷の思い出」として残るものとする。	
事業内容 *別紙添付可	（主な対象者） 青葉はつが野小学校区・南池田中学校区内住民 （事業実施期間） 平成27年8月1日（土曜日）（雨天順延） （事業実施場所） 青葉会館及びふれあい広場 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 舞台・音響設備・企画立案・会場設営・広報活動・アトラクション・司会・夜店・会場警備等、すべて会員のアイデアによる手づくりの夏まつりで行う。 これらの行動が地域の一体感を醸成される。	
事業スケジュール	時期 （月） 4月 5月 6月 7月 8月 9月	内容 事務局会で27年度夏まつりの大綱の決定。 推進委員会を開き、事業内容・予算を審議。決定。 事務局会を開き、実行委員を選出。組織化する。 実行委員会を開き、総会で決議された事項の担当者を決め、各担当者からの購入品等の見積書の提出。予算の適合性を確認。 実行委員会を開き、事業内容と予算の調整。承認後、発注や買付を始め、本番に備える。 関係行政（市役所・警察・保健所・消防署）への手続きを済ませる。 実行委員会を開き、業務の進捗状況の確認。 祭り前日・本番・翌日後片付けの人員確保等の最終確認。 夏まつり実施。 事務局会で決算内容の審議。総会で事業報告・決算の承認を行う。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： 第34回 青葉台夏まつり

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	800,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入(寄付)	600,000	近隣事業者からの寄付
事業収入(売上)	860,000	夜店売上 (850 千円)
		Tシャツ販売 (10 千円)
自主財源	20,000	自治会の出資金
合 計	2,280,000	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠 (数量、単価等)
報償費	100,000	出演者への謝礼 ￥10,000x10
旅費	15,000	物品買出し、テント運搬等
消耗品	255,000	会場設営用消耗品(入場門、櫓材料、シート他)
食料費	60,000	出演者(200人)への飲食代等
印刷製本費	10,000	チラシ、プログラム印刷代
役務費	10,000	郵便料、振込手数料
委託料	500,000	舞台、音響設備、照明設備仮設
使用料及び賃借料	110,000	夜店機材レンタル費
原材料費	885,000	夜店材料費
備品費(対象外経費)	150,000	テント購入他
消耗品(対象外経費)	185,000	スタッフ飲食・打上費用、謝礼、
合 計	2,280,000	
対象経費	1,945,000	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(はい ・ いいえ)

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・ 申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

- ①寄付金を増やす。②事業規模の縮小（夜店の出店数を減らす。）③準備費用の圧縮（櫓、アトラクション舞台の簡素化等費用の圧縮）。④夜店売上を増やす工夫をする。
- ⑤その他各種費用の見直し・圧縮（食費・消耗品・レンタル機器・原材料費等）

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。